

学校支援ボランティアの活動をご報告します！（4月）

▶ 1年生下校見守りサポート（4/11～26）

つい先月までお家の方に送迎してもらっていた子どもたちも自分たちで登下校！4月は、先頭に立って通学路の確認と交通安全指導をする先生方のサポートです。ドキドキ、ワクワク、ソワソワの1年生の下校を、地域と保護者のボランティアの方々が見守りました。最初は不安そうにしていた子ども、今では緑のジャンパーを着たボランティアさんに嬉しそうに話しかけてくれるようになりました。



▶ 懇談時の1・2年預かり支援（4/12）

保護者の方々が安心して学級懇談会に参加できるよう、1・2年の児童（希望者）を学校がお預かりしています。今年もたくさんの利用があり、地域のボランティアさんが受付と引き取りの確認をサポートしました。



▶ 1年生初めての給食準備支援（4/16～）

1年生もいよいよ給食スタート！子どもたちにとって初めての給食当番の配膳・運搬の補助をしてもらっています。今まで持ったことのないような重たいおかず鍋やご飯を運ぶ子どもたちに「頑張れ、もう少しだよ！」と優しく声をかけてくれるボランティアさんたちです。子どもたちも少しずつお当番の仕事を覚えることができます。



▶ 花壇の土づくりと委員会活動支援（4/25）



今年もボランティアさんにお手伝いいただき、兵庫県の県花「ノジギク」を自然環境委員会の子どもたちが、家庭科室前に植えました。子どもたちが植えやすいように花壇の土を事前に耕し肥料を撒くなど、準備も万全にしてもらいました。今年は手作りの柵も考えてくれているそうです。お花の成長が今から楽しみです！



3月、地域や保護者のボランティアさんが卒業式を前に正門付近をきれいに飾ろうと花壇にお花を植えました。

先日そのお花が咲きそろった花壇の周りで、春の花の観察を一生懸命している子どもたちの姿を見て、ボランティアさんの活動が授業にもお役に立っていると嬉しくなりました。



こんな風景が、無理なく楽しくの連携・協働の形なのかな？と思ったりします。皆さんも、できる時に学校と子どもたちの活動支援に参加してみてください。



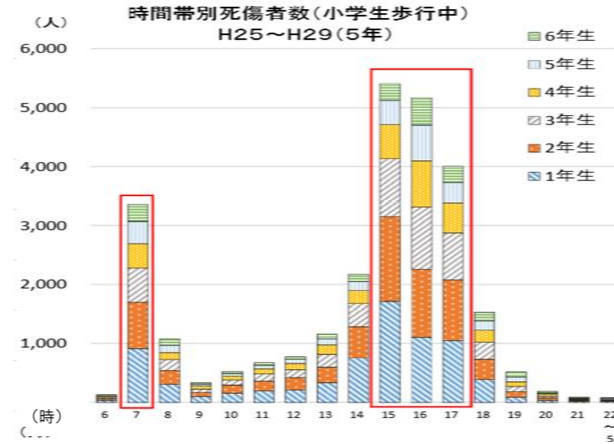
学校・地域・家庭の
連携協働



「5月は交通事故が一番多い」ご存知でしたか？



警察庁交通局から平成30年1月31日時点のデータによる小学生の歩行中の事故の分析結果が出ています。交通事故の一番多いのは5月です。新1年生は学校にも慣れ始めたころですね。



左記のグラフからは、予想以上に登下校の時間帯の事故が多いことがわかります。特に低学年の件数が多いです。

ここ数年、「見守りは本当に必要なのか？」「保護者には余計なお世話なのではないか？」という葛藤がありますが、こうやってみるとお役に立っているのかもしれないと思います。

登校時は、PTAの地区委員さん中心に保護者の方々が見守り、下校時は見守り隊と地域の人の見守り目を増やしたいですね。

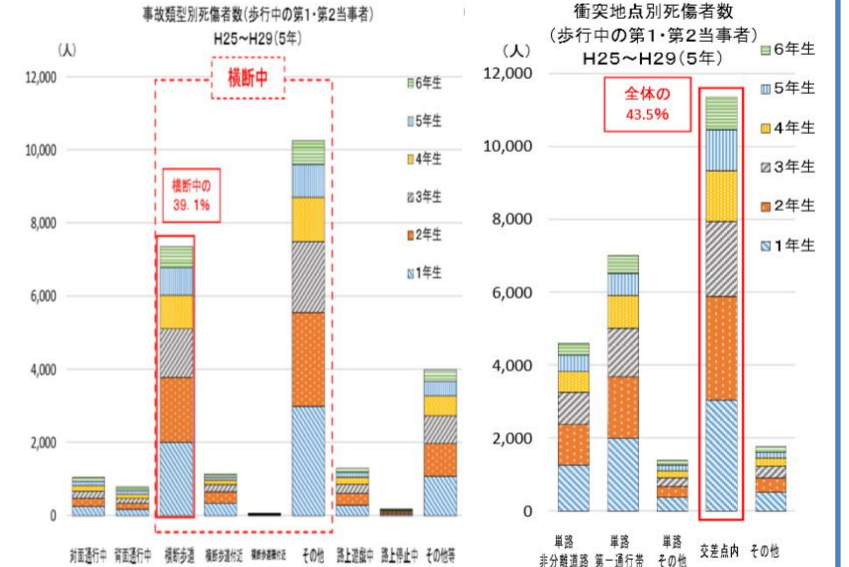
右記の最初のグラフでは、交差点での事故が全体の43.5%と多いことがわかります。

その隣のグラフでは、大半が横断中の事故で、その中の39.1%が横断歩道での事故だというのは驚きでした。

各家庭でも、道を渡る時注意することを繰り返しお話することが大事です。見守り隊も繰り返し声掛けをしていきます。

5月からは先生の付き添いがなくなり、見守り隊の方々が下校に付き添って帰ります。

4・5・6丁目は見守り隊の方が少なく、付き添えないこともあるかもしれません。4月に引き続き保護者の方の見守りをお願いします。



教育課程説明会

4月27日に行われた教育課程説明会で、コミュニティスクールの説明に続いて、ゆりのき子どもネットワークの紹介をしました。保護者の方々に、ゆりネットの活動を知っていただき、「できる人が、できる時に、できることを、無理なく、楽しく」この気持ちが広がればいいなと思います。



ゆうゆうクラブ「ゲームで仲間づくり」

4月14日(日)

今年度のゆうゆうクラブは、4・5・6年生とその兄弟合わせて25名でのスタートです。

前半はジャンケンで自己紹介ゲームとみんなで色をそろえるカードゲームをグループで行いました。

後半は、今年やりたいことを出し合いました。一番人気は「デイキャンプ」。今年はできるかな？他にもハイキングや工場見学など、お出かけ企画が多く出ました。他には、クリスマス会やハロウィンパーティー、クイズ大会などのお楽しみ企画や、クッキー作りなど。恒例の感謝祭のお店も楽しみなようです。

子どもスタッフが企画し募集することもあると思います。その時は参加してみてくださいね。

